



## 学校法人順天堂 順天堂大学



### 大学院生を「若手研究者」と位置付け、大学の実態に即した取組を展開

#### 取組内容

大学院生も対象

##### 【効率的な短時間の研究支援員配備制度】

- コーディネーター等が支援ニーズを細かく聞き取ることで本当に必要で適切な支援を実施
- 講座・研究室に複数の利用希望者がいる場合は「チーム」として運用

##### 【トップのリーダーシップ】

- 女性活躍推進を図るため、大学上層部との意見交換の実施に加え、平成23年度から「女性研究者研究活動支援シンポジウム」を継続開催
- 教員の募集要項にポジティブアクションを掲げる

女性研究者研究活動支援シンポジウム

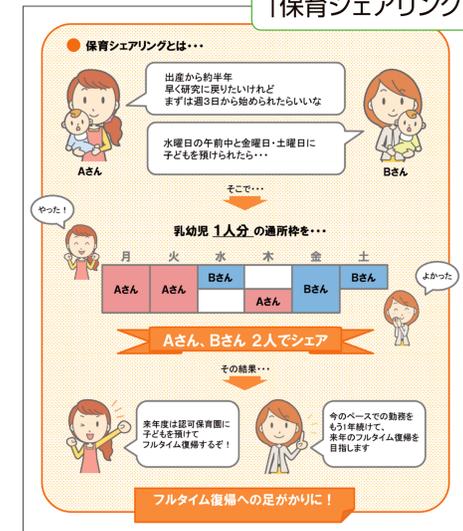


多様な働き方をする研究者等の保育支援

##### 【研究と家庭・子育て等との両立支援】

- 特別枠（「大学院生枠」「保育シェアリング枠」等）を設けた保育所運営やファミリーサポート事業により、既存の保育所への入所優先順位の低い学生や段階的に復職を望む医師への保育体制を提供

「保育シェアリング」



研究支援員と女性研究者

【設立】昭和26年  
 【代表者】学長 新井 一  
 【教職員・研究者数】1,562名（女性453名 男性1,109名）  
 【所在地】文京区  
 【事業概要】医学部・スポーツ健康科学部・医療看護学部・保健看護学部・国際教養学部の5学部、大学院3研究科等  
 （平成29年5月1日現在）

#### 背景・経緯

- 医学部において女性教員の上位職者の占める割合が低い状況を受け、平成23年に法人に男女共同参画推進室を設置
- 当初、女性医師・研究者の活動支援が中心であったため、医学部長が室長を兼務していたが、平成28年から学長の兼務となり、全学を対象とした取組として実施

男女共同参画推進室が主催のセミナー



#### 効果

- 週10時間未満の研究支援員配備制度の実現により、限られた予算の中で、多くの女性研究者を支援
- 女子大学院生へのキャリア形成、学業・研究と子育て等との両立支援により、学位取得を目指す女性が増加（毎年40名程度の女性が医学研究科博士課程へ進学）
- 女性教授の増加（医学部 平成23年：2名 1.7% → 平成29年：11名 6.9%）  
 （全学 平成23年：19名 12.0% → 平成29年：32名 14.4%）